



日時：2025年11月27日（木）10:00～11:00
登録者：代表取締役会長 炭井孝志
代表取締役社長 島本国一
上席執行役員 財務戦略 薄井大輔
執行役員 経営企画室 室長 北崎新英
経営企画室 経営管理部 部長 菅原義彦
管理本部 財務経理部 部長 森田達也

Q1. 決算説明会資料 24 ページの生産能力の向上について、山梨工場と西日本工場の生産能力の増強ですが、投資額約 26 億円の内訳がどのようなになるのか。また、工事の完了時期が大体いつごろになるのか。生産能力について何割程度アップするのか。小型容器の増強はマヨネーズ・ドレッシングをさしているのか、お伺いしたいです。

A1. 投資額 26 億円の内訳は、山梨工場の内容につきましては今ある機械の更新になります。西日本工場につきましては、新たな建屋の中に設備を増強するため、割合としては山梨工場の方が少なく西日本工場の方が多くなります。内容の詳細については控えさせていただきますが、山梨工場は機械の更新を行い、西日本工場は新たに場所を設けて設定するということをご理解いただけたらと思います。

完了時期につきましては、西日本工場は 2026 年 9 月稼働を目指しており、山梨工場の機械の更新につきましては、2027 年 6 月を目指して、現在準備を整えている状況です。生産能力は、増強することで約 1.5 倍に向上すると想定しております。

商品は、小型容器に入っているソースになります。マヨネーズを使ったソース、使わないソースと両方ございます。

Q2. 商品統廃合について確認させてください。業務効率の向上という効果が表れている一方で、販売機会の減少が中間期の成績に影響しています。下期以降も計画通りに進められるのでしょうか。

A2. 商品統廃合につきましては、4 月 1 日から実施をしておりますが、同時に、4 月 1 日から価格改定も行わせていただいております。商品統廃合につきましては、統廃合される商品を、残る商品に切り換えていただくようお客様にお願いをしています。例えば、ポテトサラダが 5 種類のうち 2 種類がなくなる場合、残る 3 種類の商品に切り換えをお願いします。その中で、うまく切り換えできるもの、他社に変わっていくもの、もしくは、ポテトサラダ自体が他の商品に変わっていく、ということがあります。その減少分につきましては予測は立てておりましたが、それ以上に影響があったとご理解ください。

商品の統廃合によるメリットにつきましては、まず生産品目が集約されますので、1つの商品の販売重量が増加します。その結果、同じ商品を多く作ることができますので、効率よく生産できます。また切り換えを行いながら、5品生産しようと思うと4回切り換えが必要になりますが、3品ですと2回の切り換えで済みます。切り換えの回数が減ることによって、いろんな作業が省かれていきます。また切り換えするときには機械の中に、製品になるはずのものが残りますが、連続して生産するとそれが製品となるため、歩留まりが向上します。そのため、効率よく生産でき、歩留まりが向上します。また、商品数が減少するため、使用している原材料及び包材、箱等が減ります。それらの管理コスト、保管していたスペースが有効に使えるようになり、これらも効果の中に含まれてくると考えております。

これから注力すべきことは、さらなる集約生産で1日に作れる量を増やすことだと考えております。商品統廃合のメリットはありますが、販売数量が減少しており、効果が少し薄れてきているのは事実でございます。そのため、下期については各商品の拡販に注力していく必要があると考えております。

Q3. 卵の原材料高がタマゴ加工品やマヨネーズの利益面を圧迫しているとのことですが、現在は345円/kgの相場です。御社はタマゴ加工品のメーカーとして、鶏卵相場はどれぐらいが適正だと考えていますか。

A3. どのぐらいとは言えませんが、今は高いと考えています。また、昨年度は比較的安価に推移したと考えております。今期は、飼料の状況、鶏の羽数の状況、夏場の暑さの影響を受けております。さらに、外食にて、月見の商品など瞬発力のあるご使用をされているので、それによって相場が連動していくところがあります。具体的な価格は控えさせていただきますがもう少し安いほうが良いと考えております。

以上

【注意事項】

本資料に記載の内容は、フェアディスクローズの観点から、2026年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会の質疑をもとに記載したものであり、その情報の正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更される可能性があります。本資料に記載されている業績見通しや将来予測などに関する記述は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合がございます。